

令和元年度滋賀県スポーツ実施状況調査結果概要について

1 調査の目的

本調査は、第2期滋賀県スポーツ推進計画で目標としている成人の週1日以上の実施率(2022年:65%以上)や県民のスポーツに関する意識および実態を把握することを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象: 滋賀県内在住18歳以上の男女
- (2) 調査方法: インターネット調査(無作為抽出)
- (3) 主な調査内容: ①性別・年齢など属性 ②健康・体力に関する意識
③運動・スポーツの実施状況
- (4) 標本数: 1,561人
- (5) 調査期間: 令和元年11月27日～12月2日

3 回答者の属性

(1) 性別

男性	女性	計
828人	733人	1,561人
53.0%	47.0%	100%

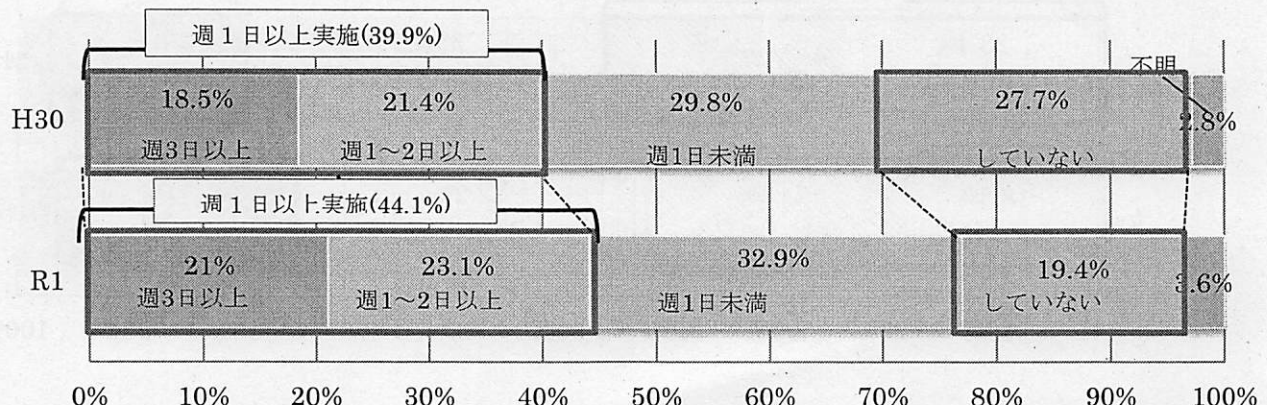
(2) 年代別

18-20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
267人	278人	299人	294人	269人	154人	1,561人
17.1%	17.8%	19.2%	18.8%	17.2%	9.9%	100%

4 調査結果の概要

(1) 運動・スポーツ活動の状況

「週に1日以上運動やスポーツを行っている」と回答した人は44.1%で、前年度と比較すると4.2ポイント上昇した。また、「スポーツはしていない」と回答した人は19.4%で、前年度と比較すると8.3ポイント減少した。県民の運動・スポーツの習慣化が前年度より進んでいると考えられる。



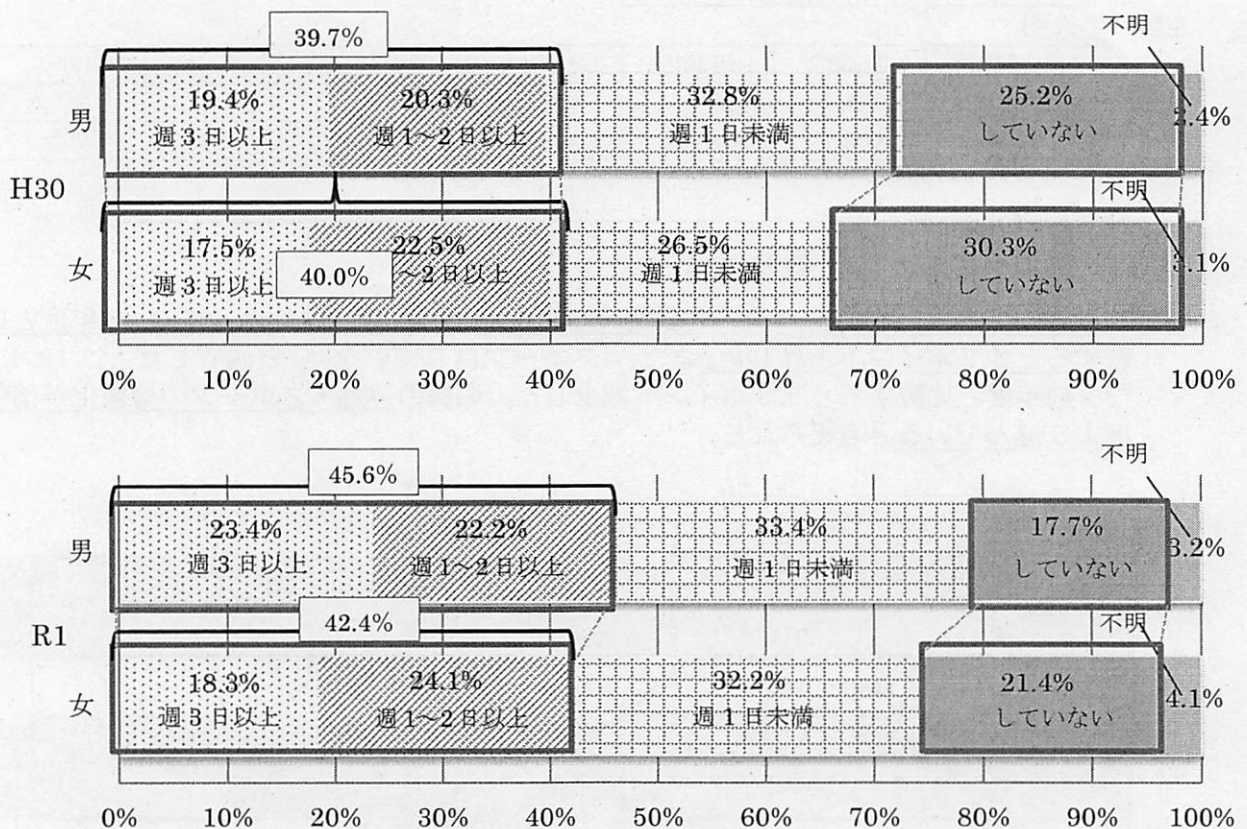
(2) 年代別の状況

「週に1日以上運動やスポーツを行っている」と回答した人を年代別で前年度と比較すると、60歳代を除く各年代で実施率が上昇している。また、前年度と同様に20歳代～50歳代は県の平均を下回っているものの、県の平均値との差が縮まってきている。

	(18-)20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
H30	35.6%	29.7%	24.7%	37.3%	52.3%	65.6%	39.9%
R1	42.8%	37.8%	37.3%	38.7%	50.6%	69.8%	44.1%
差	+7.2	+8.1	+12.6	+1.4	△1.7	+4.2	+4.2

(3) 性別の状況

「週に1日以上運動やスポーツを行っている」と回答した人を性別でみると、前年度と同様に男性より女性の方が低く、前年度より差が広がっている。また、「運動やスポーツはしていない」と回答した割合も前年度と同様に男性より女性の方が高いが、前年度より差が縮まっている。



(4) 運動・スポーツの種類

1年間で行った運動・スポーツをみると「ウォーキング」が最も多く(62.6%)、次いで「トレーニング」(12.9%)、「体操」(11.9%)の順となっている。前年度選択項目の見直しを行ったことから単純比較は困難であるが、概ね前年度と同様の傾向である。

	H30		R1	
1位	ウォーキング (歩け歩け運動、散歩などを含む)	47.4%	ウォーキング (散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなど)	62.6%
2位	体操 (ラジオ体操、職場体操、美容体操、 エアロビクス、縄跳びを含む)	20.3%	トレーニング (筋力トレーニング・トレッドミル (ランニングマシーン)・室内運動器 具を使ってする運動等)	12.9%
3位	ランニング、ジョギング	12.3%	体操 (ラジオ体操・職場体操・美容体操等)	11.9%

(5) 運動・スポーツを行う場所

運動・スポーツを行っている場所については、「自宅の周辺(公園、道路など)」が最も多く(66.7%)、次いで「自宅内」(21.7%)、「県市町の公共施設」(19.0%)となっており、身近な場所で運動・スポーツに取り組む傾向がある。

	H30		R1	
1位	自宅内または自宅の周辺 (公園、道路など)	63.2%	自宅の周辺 (公園、道路など)	66.7%
2位	県市町の公共施設	24.3%	自宅内	21.7%
3位	民間の施設	22.1%	県市町の公共施設	19.0%

(6) 運動・スポーツに取り組めていない人の理由

「スポーツはしていない」と回答した人の理由については、「機会がないから」が最も多く(41.5%)、次いで「したいと思わないから」(38.1%)となっている。前年度3位の理由であった「仕事(育児・介護を含む)が忙しくて時間がないから」は4位となり、代わりに前年度4位の理由であった「お金がかかるから」が3位になっている。

	H30		R1	
1位	機会がないから	45.6%	機会がないから	41.5%
2位	したいと思わないから	37.2%	したいと思わないから	38.1%
3位	仕事(育児・介護を含む)が忙しくて時間がないから	23.3%	お金がかかるから	23.5%

5 今後の方向性

- ・本県の成人の週1日以上運動・スポーツ実施率は、国の実施率（53.6%）よりも低位であることから、更に実施率向上につながる取り組みを行うことは大きな課題であると認識している。調査結果の傾向等を踏まえ、以下の点に着目して事業を進める。

（年代・性別）

実施率の低い30歳代～50歳代の働き盛りの世代や女性を対象を絞った事業の実施

（種類・場所）

ウォーキングなど比較的運動負荷の低い運動・スポーツに取り組むことを進める事業の実施

（理由・動機）

事業を実施するにあたっては、健康の保持・増進などのスポーツに取り組むメリットやスポーツの魅力を併せて発信

- ・今年度実施した「運動・スポーツ習慣化促進事業」では、働き盛り世代や女性を対象に、商業施設等で体組成の測定結果を踏まえたセミナーを開催した。参加者アンケートによると、「運動・スポーツは健康や体力づくりに有効だと思う」と回答した人は88%となっており、運動・スポーツと健康を結び付けた取組が重要であることが伺える。このことから更に健康医療福祉部との連携を強めた取組を実施する。
- ・滋賀県スポーツ推進審議会においても、運動・スポーツ実施率の向上について議論していただいており、「生涯スポーツを見据え、一人で体を動かす楽しさを味わえる施策」や「中学生の間に取り組みやすい運動・スポーツを考えさせる体育の授業」が大切といった審議会委員の意見を踏まえながら、県民の運動・スポーツ実施率の向上に取り組んでいきたい。

（参考）成人の週1日以上運動・スポーツ実施率（国との比較）

	H27	H28	H29	H30	R1	R4 年目標
全国	40.4%	42.5%	51.5%	55.1%	53.6%	65%
滋賀県	40.5%	36.0%		39.9%	44.1%	65%
差	0.1	△6.5	—	△15.2	△9.5	—

（出典）国：内閣府「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査」（H27）

スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（H28、29、30、R1）

県：「県政世論調査」（H27）、「県民のスポーツライフにかかわるスポーツ実施状況調査」（H28）、「滋賀県スポーツ実施状況調査」（H30、R1）